

第19回日本データベース学会通常総会

(2019年度ACM SIGMOD日本支部年次事務会議)

2019年度日本データベース学会表彰式

2020年6月26日 (金)
於 オンライン開催

議題

16:30～17:00

2019年度日本データベース学会表彰式

若手功績賞・上林奨励賞・論文賞・DEIM論文賞

17:00～18:00

第19回日本データベース学会（DBSJ）通常総会

- 1) 2019年度事業報告および決算について
- 2) 監査報告
- 3) 一般社団法人日本データベース学会設立について
- 4) 定款の改訂
- 5) 2020年度役員について
- 6) 2020年度事業計画および予算について
- 7) その他

第19回DBSJ通常総会

2019年度

日本データベース学会

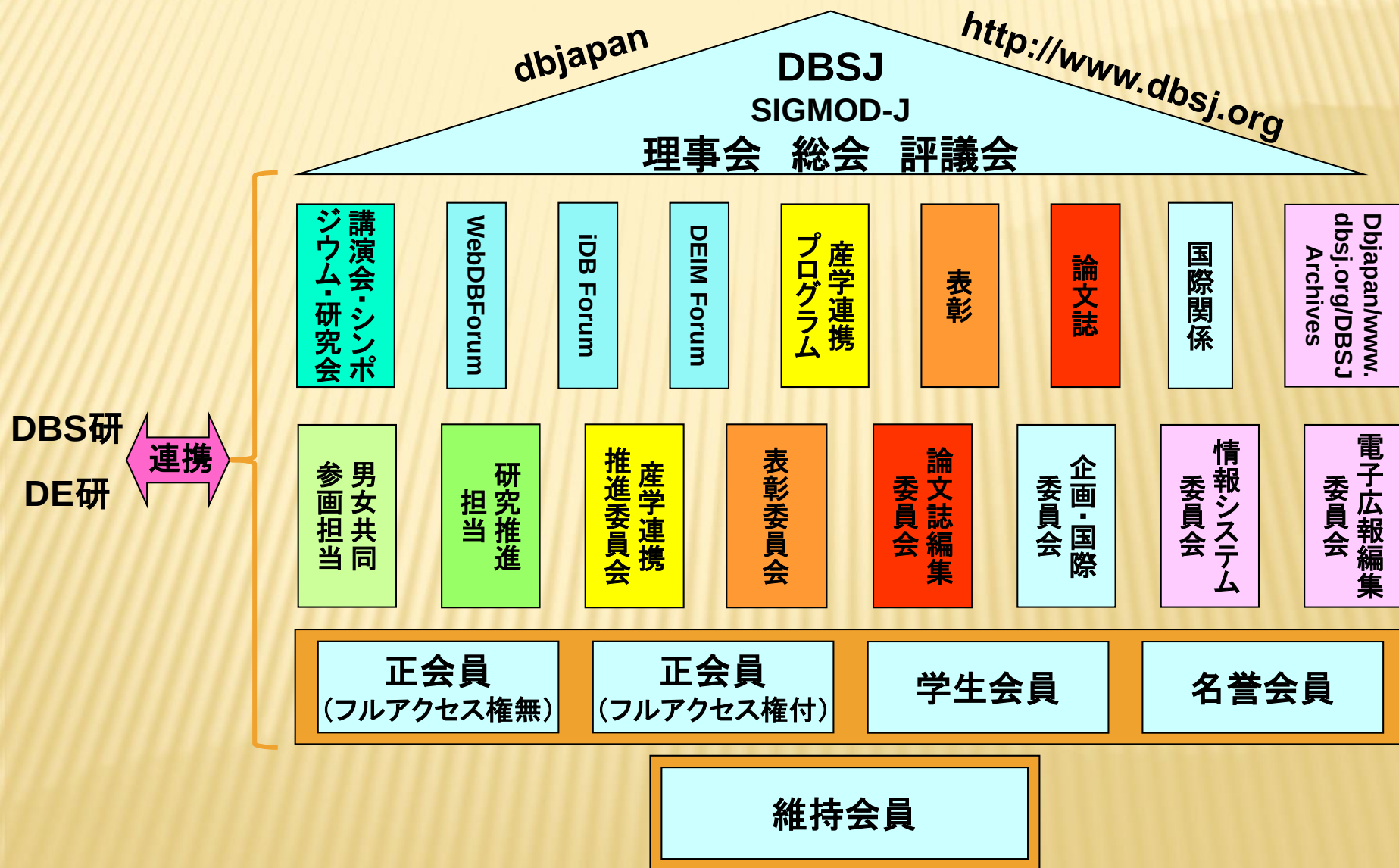
事業報告ならびに決算について

DBSJの目的

✓ 定款 第4条

本会は、データベース、メディアコンテンツ、情報マネジメント、ソーシャルコンピューティングに関する人材の育成と科学・技術の振興をはかり、（社）情報処理学会データベースシステム研究会、（社）電子情報通信学会データ工学研究専門委員会、ACM SIGMOD 日本支部と連携しつつ、フットワーク軽く、産学連携、国際的ビジビリティの向上、新学術領域の開拓においてイニシアティブをとり積極的に国内外にメッセージを発信し、学術、文化、産業、ならびに社会の発展に寄与することを目的とする。

DBSJの姿



会員状況

✓ 正会員 1677名 (2020年6月26日)

✓ 学生会員 162名 (2020年6月26日)

✓ 維持会員 23社

Sky(株), LINE(株), (株)日立製作所, 富士通(株),
日本電信電話(株), 日本アイ・ビー・エム(株),
(株)リクルートテクノロジーズ, 日本オラクル(株),
(株)ユリニタ, (株)Cygames, (株)東芝, 楽天(株),
(株)リコー, 日本電気(株), 三菱電機(株),
(株)NTTデータ, SRA OSS,Inc.日本支社,
(株)ターボデータラボラトリー, (同)DMM.com,
日本マイクロソフト(株),
(株)FRONTEO, (株)LIFULL, 特許庁

2019年度DBSJ役員

- ✓ 会長 1名 喜連川優(NII/東大)
- ✓ 副会長 3名 飯沢篤志(リコー), 灘本明代(SIGMOD-J:甲南大), 山名早人(早大)
- ✓ 監事 2名 北川博之(筑波大), 清木康(慶応大)
- ✓ 理事 30名

伊川洋平(日本IBM), 石川佳治(名大), 戌亥稔(ユニリタ),
上田真由美(流通科学大学), 梅本和俊(東大), 小口正人(お茶大),
小山聡(北大), 木俵豊(NICT), 小杉尚子(東京医療保健大),
櫻井一貴(リクルートテクノロジーズ), 佐々木史織(慶応大),
佐藤哲司(筑波大), 下道高志(日本オラクル), 白石雅己(NEC),
角谷和俊(関西学院大), 武中隆宏(富士通), 富田準二(NTT),
中野美由紀(津田塾大), 浪岡保男(東芝),
橋本隆子(千葉商科大), 原田リリアン(富士通研), 藤原真二(日立),
松原靖子(阪大), 宮崎純(DE:東工大), 森正弥(楽天),
森嶋厚行(筑波大), 横田治夫(東工大), 吉川正俊(DBS:京大),
若宮翔子(奈良先端大学院大),
Prof.Xiaoyong Du(Renmin University of China)

展開した事業など

- ✓ 論文誌刊行事業
- ✓ 研究推進事業
- ✓ 産学連携推進事業
- ✓ 表彰事業
- ✓ 企画事業
- ✓ 国際関係推進事業
- ✓ 男女共同参画推進事業
- ✓ 電子広報事業
- ✓ 情報システム事業
- ✓ 総会・理事会・評議会開催

論文誌刊行事業

✓ DBSJ論文誌の歩み

- ・ 2002年度創刊 (DBSJ Letters) : 季刊
- ・ 2008年度 (Vol. 7) より「論文誌」
- ・ 2009年度 (Vol. 9) より年3回刊行

✓ 2014年度 : 英文誌・和文誌に分割, 随時受付

✓ 2015年度よりオンライン発行 (随時掲載) のみに

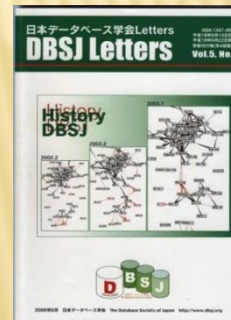
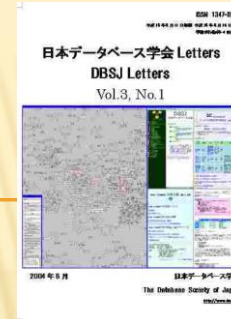
✓ 2019年度

- ・ Vol. 18 : 英文論文2件収録
- ・ Vol. 18-J : 和文論文19件採録

✓ 評価基準 : 新規性, 有用性, 発展性, 信頼性

✓ 日本データベース学会論文賞の対象

✓ DEIMからの推薦あり



論文誌刊行事業

- ✓ **編集委員長**

石川佳治(名大)

- ✓ **副編集委員長**

小杉尚子(東京医療保健大)

- ✓ **編集幹事**

張建偉(岩手大)， 義久智樹(阪大)

- ✓ **編集委員 (17名)**

天笠俊之(筑波大)， 牛尼剛聡(九大)， 江口浩二(広島大)

小口正人(お茶大)， 鬼塚真(阪大)， 小山聡(北大)

是津耕司(NICT)， 田島敬史(京大)， 戸田浩之(NTT)，

中島伸介(京産大)， 灘本明代(甲南大)， 西澤格(日立)

春本要(阪大)， 波多野賢治(同志社大)，

宮崎純(東工大)， 森嶋厚行(筑波大)， 森本康彦(广大)

研究推進事業

■ 企画・国際委員会活動

(DBSJ, DBS, DE共催)

- WebDB Forum 2019
- DEIM Forum 2020 (オンライン)
- ソーシャルコンピューティングシンポジウム (SoC2019)
- SIGMOD-J 先端的データベースとWeb技術動向講演会

■ 研究会／研究グループの運営

- ビジネスインテリジェンス研究グループ
 - 主査：大塚真吾（神奈川工科大学）、関根純（専修大学）
 - 活動：BI研究推進
 - ：データ解析コンペティション
 - ：SIGMOD日本支部と合同で同DB部会を開催

産学連携推進事業 (1)

✓ プロダクト提供型アカデミック支援プログラム

- ・ 日立 HiRDB、日立 uCSDP
： 3大学より応募がありuCSDPを提供。2019/11に技術交流会
- ・ 東芝デジタルソリューションズ GridDB
： 2大学より応募があり研究内容の報告を頂く
- ・ DEIM2019にて募集の紹介

✓ 産学連携企画

- ・ WebDB2019@工学院大学 ポスターレセプション
「DBSJ Data Challenge (後述) 参画学生によるポスター発表」

産学連携推進事業 (2)

- ✓ DBSJ Data Challenge (データ提供型アカデミック支援プログラム) :
 - ・ 意欲的な学生, 実データを使った斬新なアイデア, 萌芽的な取り組みを支援
 - ・ 産学連携の機会を模索している企業に, 新しい産学連携の機会を創出
 - ・ 学生・企業を対象としたDBSJの価値を向上と学術への昇華
 - ・ 2019年度は楽天、リクルートに加え、LIFULL社も参画
- ・ 2019年3月 企画のプレアナウンス (DEIM2019)
(5月-9月 エントリーおよび分析作業)
2019年9月 学生からの発表 (WebDB Forum 2019)
2019年10月以降 各社でオンサイト or リモートでさらなる研究
- ・ 森正弥、平手勇宇 (楽天)、櫻井一貴 (リクルートテクノロジーズ)

表彰事業（1）

✓ 特別功労賞

- ・ 故 上林弥彦
- ・ 増永良文

授賞日 2005年2月25日

授賞日 2013年3月 5日

敬称略

表彰事業（2）

✓ 功労賞

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・ 第 1回 (2002年度) | 横田一正 |
| ・ 第 2回 (2003年度) | 石井義興 |
| ・ 第 3回 (2004年度) | 國井利泰 |
| ・ 第 4回 (2005年度) | 穂鷹良介 |
| ・ 第 5回 (2006年度) | 牧之内顯文 |
| ・ 第 6回 (2007年度) | 酒井博敬 |
| ・ 第 7回 (2008年度) | 鈴木健司 |
| ・ 第 8回 (2009年度) | 真名垣昌夫 |
| ・ 第 9回 (2010年度) | 西尾章治郎 |
| ・ 第10回 (2011年度) | 有澤博, 田中克己 |
| ・ 第12回 (2013年度) | 國井秀子 |
| ・ 第13回 (2014年度) | 植村俊亮 |
| ・ 第14回 (2015年度) | 芝野耕司 |
| ・ 第15回 (2016年度) | 金森吉成 |
| ・ 第16回 (2017年度) | 安達淳 |
| ・ 第17回 (2018年度) | 川越恭二 |
| ・ 第18回 (2019年度) | 三浦孝夫、宮崎収兄 |

敬称略

表彰事業（3）

✓ 若手功績賞

- ・ 第1回（2014年度） 是津耕司，牛尼剛聡，森嶋厚行，中島伸介
- ・ 第2回（2015年度） 天笠俊之，小山聡，富井尚志，豊田正史，波多野賢治
- ・ 第3回（2016年度） 大塚真吾，岡本真，土方嘉徳，原隆浩，吉田尚史
- ・ 第4回（2017年度） 寺田努，山口実靖，上田真由美，河合由起子，馬強
- ・ 第5回（2018年度） 金京淑，清田陽司，戸田浩之，渡辺知恵美
- ・ 第6回（2019年度） 川島英之，合田和生，鈴木優，の野晃整，横山昌平

敬称略

表彰事業（4）

✓ 上林奨励賞

- ・ 第 1回（2004年度） 石川佳治， 有村博紀
- ・ 第 2回（2005年度） 片山紀生
- ・ 第 3回（2006年度） 櫻井保志
- ・ 第 4回（2007年度） 鬼塚真， 田島敬史
- ・ 第 5回（2008年度） 森嶋厚行
- ・ 第 6回（2009年度） 小山聡， 豊田正史
- ・ 第 7回（2010年度） 原隆浩， 三島健
- ・ 第 8回（2011年度） 手塚太郎
- ・ 第 9回（2012年度） 佐久間淳， 藤原靖宏
- ・ 第10回（2013年度） 斉藤太郎， 前川卓也， 油井誠
- ・ 第11回（2014年度） 佐藤一誠， 倉島健， 木村英朗
- ・ 第12回（2015年度） 秋葉拓哉， 加藤誠， 松原靖子
- ・ 第13回（2016年度） Adam Jatowt， 西田京介， 白川真澄
- ・ 第14回（2017年度） 荒瀬由紀， 馬場雪乃， 山本泰生
- ・ 第15回（2018年度） 小出智士， 肖川， 数原良彦
- ・ 第16回（2019年度） 天方大地， 梅本和俊， 塩川浩昭

敬称略

表彰事業（5）

✓ 業績賞

- ・ 2009年度 日立製作所 ソフトウェア事業部
- ・ 2011年度 日本PostgreSQLユーザ会
- ・ 2014年度 富士通 ミドルウェア事業本部
データマネジメント・ミドルウェア事業部
- ・ 2019年度 東芝デジタルソリューション株式会社
株式会社東芝 生産技術センター

表彰事業（6）

✓ 論文賞

- ✓ 第 1回（2003年度） 豊田正史 他共著者1名
- ✓ 第 2回（2004年度） 田中昌宏 他共著者6名， 天笠俊之 他共著者1名
山口実靖 他共著者2名
- ✓ 第 3回（2005年度） 篠原昌子 他共著者3名， 宮森恒 他共著者2名
- ✓ 第 4回（2006年度） 櫻井茂明 他共著者2名
- ✓ 第 5回（2007年度） 石川佳治
- ✓ 第 6回（2008年度） 平手勇宇 他共著者2名
- ✓ 第 7回（2009年度） 喜連川優 他共著者1名
- ✓ 第 8回（2010年度） 中山浩太郎
- ✓ 第 9回（2011年度） 伏見卓恭 他共著者2名
- ✓ 第10回（2012年度） 福角駿 他共著者3名
- ✓ 第11回（2013年度） 塩川浩昭 他共著者3名
- ✓ 第12回（2014年度） 鈴木恵介 他共著者4名
- ✓ 第13回（2015年度） 塩川浩昭 他共著者3名
- ✓ 第14回（2016年度） 菅野真生 他共著者4名
- ✓ 第15回（2017年度） 梅本和俊 他共著者2名
- ✓ 第16回（2018年度） 大塚淳史 他共著者4名
- ✓ 第17回（2019年度） 佐々木勇和 他共著者2名

企画事業（1）

× DBSJ総会2019第1部

+ セミナー

アカデミアや企業における研究開発のための
データの収集・提供・利用

STORIA法律事務所

弁護士 柿沼太一先生



+ 招待講演

Overview of Database Research in China

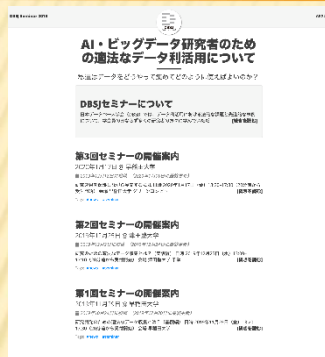
DBSJ理事・

中国計算機学会データベース専門委員会委員長

Prof. Xiaoyong Du



企画事業 (2)



<https://db-event.jpj.org/dbsj-seminar-2019/>

アカデミアや企業における研究開発のためのデータの収集・提供・利用セミナーを開催した。

✕ セミナーの目的

- + 個人情報保護法や改正著作権法、GDPR等、研究者にもデータ利活用についての法的な知識が必要な時代になっています。「私達は法に準拠してデータをどうやって集めてどのように使えばよいのか？」という疑問を解消することを目的とします。
(DBSJWebより)

第1回

- 日時: 2019年11月29日(金)13:20-17:30
- 会場: 早稲田大学 グリーンコンピューティングシステム研究開発センター 1F 会議室
- 講演([プログラム詳細](#))
 - 研究開発のための適法なデータ収集とは？(基礎編)
柿沼 太一 (STORIA法律事務所)
 - 森羅: 評価型ワークショップを利用した研究者の協力的貢献による人工知能リソースの構築
関根 聡(理化学研究所)
 - デジタルヘルスケア領域における大規模データ利活用の事例と課題
上條 憲一(NEC)
- 参加者数
 - 60名

第2回

- 日時: 2019年12月25日(水)13:00-17:10
- 会場: 津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス 3F SA302
- 講演([プログラム詳細](#))
 - 研究のための適法なデータ収集とは？(実践編)
柿沼 太一 (STORIA法律事務所)
 - プライバシー保護技術による自治体データ利活用の活性化
小栗 秀暢(富士通研究所)
 - 楽天エコシステムにおけるデータ活用戦略とコンプライアンス管理
野村 一仁(楽天)
- 参加者数
 - 52名

第3回

- 日時: 2020年1月17日(金)13:20-17:30
- 会場: 早稲田大学 グリーンコンピューティングシステム研究開発センター 1F 会議室
- 講演([プログラム詳細](#))
 - データ収集・DB構築に関する法的規制～個人情報に関するものを中心に～
柿沼 太一(STORIA法律事務所)
 - 産業アーキテクチャ設計力強化に向けた政府・IPAの取組
片岡 晃(情報処理推進機構)
 - 音声対話型AI帳票を用いた生産現場の進化とデータ利活用
田淵 仁浩(NECソリューションイノベータ)
- 参加者数
 - 40名

企画事業（3）

■ 第12回Webとデータベースに関するフォーラム

WebDB forum 2019（連続開催DBS・IFAT・DE合同研究会）

- 日時： 2019年9月8日(日)–9月9日(月) / 研究会9月10日(火)
- 場所： 工学院大学 新宿キャンパス
- 主催： 情報処理学会データベースシステム研究会
日本データベース学会（DBSJ）
電子情報通信学会 データ工学研究専門委員会
- 協賛：
ACM SIGMOD日本支部，情報処理学会 情報基礎とアクセス技術研究会，情報処理学会 ビッグデータ解析のビジネス実務利活用研究グループ，ARG Webインテリジェンスとインタラクション研究会，Firebird日本ユーザ会，日本MySQLユーザ会，NPO法人 日本PostgreSQLユーザ会
- 実行委員長： 鈴木 伸崇(筑波大学)
プログラム委員長： 牛尼 剛聡(九州大学)

企画事業（４）

■ 2019年度開催 Forum（DBSJ, DE, DBS共催）

● DEIM Forum 2020

× 2020年3月2(月)-3月4日(水)（オンライン開催）

＊ 実行委員長 合田和生（東京大学）

＊ プログラム委員長 横山昌平（都立大）

＊ 一般発表 316件，インタラクティブ発表 55件，
参加者 565名

＊ 招待講演：オンライン開催のためキャンセル

× オンライン開催状況・報告

＊ 事後アンケートの結果92名から回答があり、5段階評価（1:不満-5:満足）で4以上の満足の評価が87%

× 今後の課題

＊ オンラインあるいはハイブリッド開催の場合、講演動画の公開

企画事業（5）

- 第10回ソーシャルコンピューティングシンポジウム
The 9th Social Computing Symposium (SoC 2019)
 - 日時： 2019年6月22日（土）
 - 場所： お茶の水女子大
 - 主催： 日本データベース学会（DBSJ）
電子情報通信学会 データ工学研究専門委員会
ACM SIGMOD-J
 - 協賛： 情報処理学会 データベースシステム研究会
ARG Webインテリジェンスとインタラクション研究会
 - 招待講演： 3件
 - 一般発表： 11件
 - 実行委員長： 山本祐輔（静岡大学）

企画事業（6）

- × (1) 第34回 先端的データベースとWeb技術動向講演会
（ACM SIGMOD 日本支部第71回支部大会）2019年6月22日（土）
東京大学生産技術研究所 ICDE報告 小山田昌史（NEC）
- × (2) 第32回 先端的データベースとWeb技術動向講演会
（ACM SIGMOD 日本支部第72回支部大会）2019年12月23日（月）
国立情報学研究所 VLDB2019報告 杉浦健人（名古屋大学）
- × (3) 令和元年度データ解析コンペティションDB部会
2019年8月5日より2020年3月18日まで開催
2020年2月24日-3月11日（最終報告書とプレゼン資料をもとに委員による審査）
2020年3月12日 表彰（メールで全参加チームにアナウンス）
2020年6月20日 全体成果報告会（オンライン開催予定）
（共同主査：大塚真吾（神奈川工科大学）、関根純（専修大学），
後援 ACM SIGMOD日本支部）

男女共同参画推進事業

- ✓ IEEE WIE 女性が拓く未来のテクノロジー
 - ・ 2019年11月9日（土）
 - ・ 津田塾大学 女性研究者支援センター
- ・ 男女共同参画学協会連絡会
 - ・ オブザーバー加盟学会として継続して活動中
- ✓ 託児所の設置
 - ・ WebDB2019

ハラスメント防止委員会

× メンバー

- + 橋本 隆子（委員長）、若宮 翔子、梅本 和俊、灘本 明代、
中野 美由紀、木俵 豊
- + 小口 正人（アドバイザー）

× 設立趣旨

- + ハラスメントを防止するための活動を通して、DBSJに関わる全ての人の基本的人権および尊厳を守り、各自が安心して快適に学会活動に従事できるようにすることを目指す

× 相談窓口 – 各メンバー及び ahp@dbsj.org

× 2019年度は、過去のハラスメント案件に関し、関係各所への報告を実施

電子広報事業

- ✓ 電子広報編集委員会：共同編集体制
 - ✓ 委員長：佐藤(筑波大)
 - 幹事会：宮森(京産大), 国島(岡山県大), 藤原(NTT), 北山(工学院大)
 - 編集委員：11名
- ✓ Newsletterの定期刊行
 - ・ 2019年度実施 Vol. 11, No. 1～8
 - 隔月定期発行年6号（連載特集：VLDBへの道 を含む）
 - ＋企画2号（5月：DBSJ受賞特集号、7月：若手企業研究者特集号）

情報システム事業

✓ DBSJ会員DB・Webコンテンツの維持管理

- ・ 新ホームページのデザイン策定
 - ・ 2020年6月末日公開予定（現在90%程度完成）
- ・ 広報チャネルの拡大(Facebook)
 - ・ 現状：DBSJ公式Facebookのフォロワーは60名強程度。新ホームページと連動させて広報を拡大
 - ・ 課題：Facebook常時利用者以外への広報チャネルの検討
- ・ 英語版ホームページ維持管理
 - 海外への情報発信のサービスとして、DBSJ広報に関する主要箇所ならびに英文論文誌のページの英語版の公開

一般社団法人化

✓ 一般社団法人化（非営利型（共益活動を目的））

学会の社会的信用度向上と組織としての責任を全うするため、一般社団法人化（非営利型（共益活動を目的））の検討・移行準備を推進し、理事会において定款の作成を進めた。

2019. 10. 09 スケジュール確認

2019. 11. 28 公益社団法人協会での相談結果報告
法人化の流れ、社員の定義など

2020. 01. 30 公証役場での定款案確認報告
公証役場が公開している雛形に則り改訂

2020. 04. 06 公証役場での2回目の定款確認報告と改訂案承認

2020. 05. 27 定款の目的、事業、理事数、電磁記録対応確認・承認

2020. 06. 10 公証役場での3回目の定款確認
修正完了（若干の修正の指摘（本質的な点以外））

総会・理事会・評議会

✓ 第18回通常総会の開催

- ・ 2019年6月21日(金) 17時35分～18時20分 @お茶の水女子大学

✓ 理事会の開催（第101回～106回）

- ・ 定期開催：隔月

2019年 7月26日(金) 18時～20時40分 @メルカリ

2019年10月 9日(水) 18時～20時00分 @さくらインターネット

2019年11月28日(木) 18時～20時30分 @DMM. com

2020年 1月30日(木) 18時～20時30分 @サイバーエージェント

2020年 4月 6日(水) 19時～22時00分 @オンライン

2020年 5月27日(水) 19時～21時00分 @オンライン

✓ 第16回評議会の開催

- ・ 2019年7月26日(金) 18時～20時30分 @メルカリ
(第101回理事会と同時開催)

2019年度収支計算書－収入－

【一般会計】 +A4:E20E3A4:E21				(単位：円)
科目	予算額	決算額	差異	備考
I. 収入の部				
1. 論文誌収入	500,000	600,000	▲ 100,000	
2019年度論文誌収入	500,000	600,000	▲ 100,000	
論文掲載料	500,000	600,000	▲ 100,000	20件中17件分入金 3件分（110,000円）未入金
論文別刷料	0	0	0	
2018年度論文掲載料	0	0	0	
2. 会費収入	5,900,000	5,686,000	214,000	
維持会員年会費	5,750,000	5,500,000	250,000	予算：23社 105口 + 10口 2019年度22件
正会員年会費	150,000	186,000	▲ 36,000	述べ62名 ・ 2018年度分：25名 ・ 2019年度分：37名
3. 参加費・寄付金	3,000,000	2,740,000	260,000	予算：DEIM協賛金200万円＋セミナー企画100万円 DEIM協賛金 2,170千円、セミナー参加費 570千円
4. 受託研究	0	0	0	
5. 基本財運用収入	100	140	▲ 40	普通預金 利息
6. その他	0	11,952	▲ 11,952	駐車場精算金
当期収入合計(A)	9,400,100	9,038,092	362,008	
前期繰越収支差額	14,905,614	14,905,614	0	
収入合計(B)	24,305,714	23,943,706	362,008	

2019年度収支計算書－支出－

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅱ. 支出の部				
1. 論文誌刊行業務費	50,000	0	50,000	
2. 研究・教育推進業務費	100,000	0	100,000	
3. 表彰業務費	400,000	257,625	142,375	論文賞・功労賞・若手功績賞・上林奨励賞・業績賞・賞金・賞状筆耕代他 若手功績賞、上林奨励賞、8名分（240,000円）の賞金は翌年度に実施予定
4. 企画業務費	1,500,000	649,205	850,795	予算：SIGMOD-J補助金＋セミナー実施費用50万円 SIGMOD-J費用 60千円、DBSJセミナー費用 589千円
5. 国内連携推進業務費	10,000	10,324	▲ 324	男女共同参画協会分担金等
6. 大会業務費	750,000	203,661	546,339	予算：昨年並み＋総会企画費45万円 総会費用、講師源泉徴収 Prof. Xiaoyongの関係費用はオープンイノベーション費用
7. 会議費	400,000	263,194	136,806	理事会開催時弁当代等
8. 電子・広報業務費	3,800,000	444,731	3,355,269	予算：HP及びサーバ保守費用等＋Webデザイン更新320万円 保守契約等 HP改修終了せず、支払いが翌年度延期
9. コンテンツ整備費	100,000	2,980	97,020	ドメイン登録
10. 会員DB整備事業費	840,000	297,440	542,560	会員DBシステム改修費等
11. オープンイノベーション・広報推進費	1,000,000	426,159	573,841	予算：中国との連携など Prof. Xiaoyong 交通費・滞在費用
12. 事務局運営費	1,800,000	973,361	826,639	予算：事務局交代＋事務所移転で、+20万円 事務局代・学会封筒・事務員人件費等 事務所移転未実施、 半年事務局不在
13. 事業積立金	500,000	0	500,000	3月に入金できず、4月に入金
14. 予備費	100,000	0	100,000	
15. その他	1,350,000	592,960	757,040	予算：弁護士費用65万円＋一般社団法人化費用70万円 弁護士報酬料（弁護士源泉徴収は翌年） 一般社団法人化予算70万使わず
当期支出合計(C)	12,700,000	4,121,640	8,578,360	
当期収支差額(A)－(C)	▲ 3,299,900	4,916,452	▲ 8,216,352	
次期繰越収支差額(B)－(C)	11,605,714	19,822,066	▲ 8,216,352	

2019年度特別会計 一国際会議基金一

【特別会計（国際会議基金）】				(単位：円)
科目	予算額	決算額	差異	備考
I. 収入の部				
1. 寄付金等	1,000,000	1,000,000	△ 0	IEEE BigComp2019 支援金返却
2. 利息	20	11	9	
当期収入合計(A)	1,000,020	1,000,011	9	
前期繰越収支差額	389,183	389,183	0	
収入合計(B)	1,389,203	1,389,194	9	
II. 支出の部				
1. 国際会議支援金	1,000,000	0	1,000,000	
当期支出合計(C)	1,000,000	0	1,000,000	
当期収支差額(A)－(C)	20	1,000,011	▲ 999,991	
次期繰越収支差額(B)－(C)	389,203	1,389,194	▲ 999,991	

2019年度特別会計 一事業積立金一

【特別会計（事業積立金）】				(単位：円)
科目	予算額	決算額	差異	備考
I. 収入の部				
1. 当該年度積立金	500,000	0	500,000	3月に入金できず、4月に入金
2. 入金	0	0	0	
3. 利息	1,000	299	701	
当期収入合計(A)	501,000	299	500,701	
前期繰越収支差額	3,517,170	3,517,170	0	
収入合計(B)	4,018,170	3,517,469	500,701	
II. 支出の部				
1. 事業積立金費用	0	0	0	
2. 一般会計への繰り入れ	0	0	0	
3. 定期解約の端数	0	0	0	
当期支出合計(C)	0	0	0	
当期収支差額(A)－(C)	501,000	299	500,701	
次期繰越収支差額(B)－(C)	4,018,170	3,517,469	500,701	

第19回DBSJ通常総会

2019年度監査報告

監査報告

2020 年 5 月 11 日

日本データベース学会

会長 喜連川 優 殿

日本データベース学会

監事 北川 博之 

監事 清木 康 

監査報告

2019 年度収支計算書について、厳正に監査した結果、適正に処理
され妥当であることを報告します。

以上

第19回DBSJ通常総会

一般社団法人日本データベース学会 設立について

一般社団法人日本データベース学会 設立 2019年度の活動報告

✓ 一般社団法人化（非営利型（共益活動を目的））

学会の社会的信用度向上と組織としての責任を全うするため、一般社団法人化（非営利型（共益活動を目的））の検討・移行準備を推進し、理事会において定款の作成を進めた。

2019. 10. 09 スケジュール確認

2019. 11. 28 公益社団法人協会での相談結果報告
法人化の流れ、社員の定義など

2020. 01. 30 公証役場での定款案確認報告
公証役場が公開している雛形に則り改訂

2020. 04. 06 公証役場での2回目の定款確認報告と改訂案承認

2020. 05. 27 定款の目的、事業、理事数、電磁記録対応確認・承認

2020. 06. 10 公証役場での3回目の定款確認
修正完了（若干の修正の指摘（本質的な点以外））

定款 第3条「目的」 第4条「事業」

（目的）

第3条 当法人は、データ、データベースならびにデータ高度応用・システムを主軸とした科学・技術の振興と人材の育成を図り、国内外のデータベース関連学術団体と連携しつつ、フットワーク軽く、産学連携、国際的協調、新領域開拓を先導し、学術、文化、産業、ならびに社会の発展に寄与することを目的とする。

（事業）

第4条 当法人は、前条の目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 学術的シンポジウムの企画、開催、及び、学術研究論文誌、学会誌の刊行
- (2) 新産業形成を目指した学術界と産業界との連携の推進
- (3) グローバルな課題解決に向けた社会的貢献活動
- (4) データとデジタルによる新秩序形成に向けた学術活動
- (5) 学会活動の全デジタル化の推進
- (6) デジタル・サイエンスコミュニケーションの推進
- (7) 前各号に附帯又は関連する事業

一般社団法人日本データベース学会 設立 一般社団法人化による変化（１）

一般社団法人化により便利になる点

1. 社会的信用の向上
2. 法人名での契約が可能
3. 賠償責任は代表者ではなく法人
4. 補助金申請可能

任意団体での運営から大きく変わる点

1. 社員と代表理事の定義

- ・ **代議員制（30分の1）** をとり任期1年とする。

2. 社員総会の運営

- ・ **過半数の社員が出席** し、出席した社員の**議決権の過半数**により議決（委任状有）。
- ・ 社員除名、理事/監事解任、定款変更、解散等は**総社員の2/3以上**により議決。
- ・ **議事録は、議長と議長指名の出席者2名以上の署名必要**（電子証明可）。

一般社団法人日本データベース学会 設立 一般社団法人化による変化（２）

任意団体での運営から大きく変わる点（続き）

3. 理事数と副会長

- ・ 理事15名以上、監事2名以内、代表理事（会長、総務担当副会長）、4名以内副会長、必要に応じて特定副会長若干名
- ・ 各理事は3ヶ月に1回以上自己の職務執行状況を理事会に報告

4. 理事会

- ・ 過半数が出席しその過半数で議決。
- ・ 議決権の代理行使は認められない（委任状無）。
- ・ 議事録への署名（代表理事及び監事）が必要（電子証明による代替可）

5. 評議会

- ・ 一般社団法人には評議会を設置できないため、評議委員会（仮称）として設置。

6. 事務処理

- ・ 理事、監事交代に伴い変更登記が必要。
- ・ 社員総会後遅滞なく賃借対照表の公告が必要（あるいは5年間電磁的方法により不特定多数の者が提供を受けることができる状態に置くことで代替可）。

一般社団法人日本データベース学会 設立 今後の計画

学会の社会的信用度向上と組織としての責任を全うするため、本総会終了後遅滞なく、一般社団法人化を進める。

- ① 社員を最小人数の2名として設立（社員総会、臨時理事会）
本日総会後に臨時に実施
- ② 定款認証（7月）
- ③ 登記
- ④ 銀行口座開設・税務関係・労働保険関係届
- ⑤ 任意団体からの会員移行（10月頃～）
- ⑥ 任意団体の解散

第19回DBSJ通常総会

日本データベース学会 役員人数の変更 (定款改訂)

定款改訂(1)

- 日本データベース学会の理事会業務を円滑に行うため、以下の通り役員の人数を変更します。
- 理事人数の変更、副会長の人数、特命副会長の設定

現定款	改訂案
第4章 役員，顧問及び職員 (役員) 第14条 本会には次の役員を置く。 1. 理事 15名以上30名以内(うち、 会長1名，副会長3名以内) 2. 監事 2名	第4章 役員，顧問及び職員 (役員) 第14条 本会には次の役員を置く。 1. 理事 15名以上(うち、会長1名， 副会長5名以内，必要に応じて特命 副会長若干名を置くことができる) 2. 監事 2名

※ 理事上限は定めなくてもよいことを確認済(一般社団法人も同様)

定款改訂(2)

- 一般社団法人化に向けて現副会長の任期を特例として延長するための措置

現定款	改訂案
(役員の任期) 第21条 役員の任期は2年とする。再選を妨げないが、 会長および副会長にあっては連続2期までとする。	(役員の任期) 第21条 役員の任期は2年とする。再選を妨げないが、 会長にあっては連続2期まで、副会長にあっては連続3期までとする。

第19回DBSJ通常総会

2020年度DBSJ役員

2020年度DBSJ役員

会長 1名 喜連川優(NII/東大)

副会長 5名 飯沢篤志(リコー)、灘本明代(SIGMOD-J:甲南大)、
小口正人(お茶大)、櫻井一貴(リクルート)、宮崎純(DE:東工大)

特命副会長 4名 山名早人(早大)、橋本隆子(千葉商科大)、
木俵豊(NICT)、森嶋厚行(筑波大)

監事 2名 北川博之(筑波大)、清木康(慶応大)

理事 30名

天笠俊之(DBS:筑波大)、石川佳治(名古屋大)、上田真由美(流通科学大)
梅本和俊(東大)、大塚真吾(神奈川工大)、柿沼太一(STORIA)
小山聡(北大)、小杉尚子(東京医療保健大)、佐々木史織(慶応大)
佐藤哲司(筑波大)、角谷和俊(関西学院大)、中島伸介(京産大)
中野美由紀(津田塾大)、横田治夫(東工大)、吉川正俊(京大)
吉田尚史(駒澤大)、横山昌平(都立大)、若宮翔子(奈良先端大学院大)
渡辺知恵美(筑波技術大学)、Xiaoyong Du(Renmin University of China)
榎美紀(IBM)、倉林修一(Cygames)、下道高志(日本オラクル)
白石雅己(NEC)、高橋翼(LINE)、武中隆宏(富士通)、西岡秀一(NTT)
浪岡保男(東芝)、平手勇宇(楽天)、藤原真二(日立)

赤字は新任理事

第19回DBSJ通常総会

2020年度 日本データベース学会 事業計画および予算について

2020年度事業計画 (1) 一般社団法人化

✓ 一般社団法人化

学会の社会的信用度向上と組織としての責任を全うするため、本総会終了後遅滞なく、一般社団法人化を進める。

- ① 社員を最小人数の2名として設立（社員総会、臨時理事会）
本日総会後に臨時に実施
- ② 定款認証（7月）
- ③ 登記
- ④ 銀行口座開設・税務関係・労働保険関係届
- ⑤ 任意団体からの会員移行（10月頃～）
- ⑥ 任意団体の解散

2020年度事業計画 (2) コロナ対策

× コロナ対策委員会の立ち上げ

- + 趣旨：コロナで困難な状況にある学生を支援することを目的とする。いわゆる一般的な支援ではなく、DBSJとして、学生が成長できる活動の機会を提供する
- + 委員長：橋本、副委員長：中島（人員増予定）
- + 飯沢副会長も参加

× DBSJコロナ対策企画 ―学生によるライブ配信プロジェクト（仮称）

- + 「学生企画：アフターコロナを***教授に聞く！」（例）
- + 「アフターコロナ（With コロナ）」について、学生とDBSJ内の重鎮、若手の研究者・技術者が熱く議論する
- + 7月中に第1回配信予定、ゲスト：喜連川優会長

2020年度事業計画 (3) 第一人者によるDB関連講義 ライブラリの整備

目的

DB関連分野の各項目について、その道の第一人者ならではの「面白く」「わかりやすい」講義コンテンツを提供

委員会

森嶋厚行(筑波大学) 担当理事 委員長

渡辺知恵美(筑波技術大学) 担当理事 副委員長

委員の追加を検討中

事業計画

- パイロットプロジェクトの実施
- 利用シナリオ・トピック等需要調査
- 講義コンテンツの作成と配信
- チュートリアルイベント等の検討

2020年度事業計画 (4) データ作法（セミナー等）

個人情報保護法や改正著作権法、GDPR、CCPA等、研究者にもデータ利活用についての法的な知識が必要な時代になっており、「私達は法に準拠してデータをどうやって集めてどのように使えばよいのか？」という疑問を解消するためのセミナーを今年度も開催します。

セミナー委員会（敬称略）	
委員長	木俵 豊
委員	柿沼 太一
	上田 真由美
	榎 美紀
	平手 勇宇

- 2020年度から、DBSJセミナー委員会を立ち上げて、データ利活用に関するセミナーの開催を計画しています。
- 2020年度のDBSJセミナーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートでの開催を予定しています。

2020年度事業計画 (5) DEIM

【DEIMの目的】

DBコミュニティの活性化及び拡大化のための中核をなすイベントとする。

短期的計画（2021年開催）と長期的計画（定常的な流れ）の2段階に分けてDEIMのあり方について検討してゆく。

【短期計画】

＜DEIM2021新規項目＞

- （1）DEIM2021は「ネット利用も可能にし，3密を避けた学会運営」を目指す。
現地とオンラインのハイブリッドでのニューノーマル開催を予定。
- （2）財源をDE研からDBSJに移行
- （3）主催はこれまで通りDBSJ，DE研，DBS研3団体

会場：福島磐梯熱海の華の湯を予定（会場の制限等により変更する場合あり）

日程：2021年3月1日（月）～3日（水）

2020年度事業計画 (6) 企画

● 第11回ソーシャルコンピューティングシンポジウム

The 11th Social Computing Symposium (SoC 2020)

- ✓ 日時：2020年6月27日（土）
- ✓ 場所：オンライン開催
- ✓ 主催：日本データベース学会（DBSJ）
電子情報通信学会 データ工学研究専門委員会
ACM SIGMOD-J
- ✓ 協賛：情報処理学会 データベースシステム研究会
ARG Webインテリジェンスとインタラクション研究会(予定)
- ✓ 招待講演：2件
- ✓ 一般講演：10件
- ✓ 実行委員長：金 京淑（産業技術総合研究所）

2020年度事業計画 (6) 企画

- Webとデータベースに関するフォーラム
(WebDB Forum)
 - ✓ 例年9月開催、今年度はVLDBに注力のため休会
 - ✓ 次年度以降はDEIMと役割分担して形態変更予定
- 第36回 先端的データベースとWeb技術動向講演会
(ACM SIGMOD 日本支部第73回支部大会)
 - ✓ 日時：2020年6月27日（土）
 - ✓ 場所：オンライン開催
- Korea-Japan (Japan-Korea) Database Workshop
(KJDB)
 - ✓ 例年10～11月頃開催、今年度は未定

2020年度事業計画 (7) 産学連携推進 (1)

✓ プロダクト提供型アカデミック支援プログラム

- ・ 日立：uCSDP (uCosminexus Stream Data Platform)
- ・ 東芝デジタルソリューションズ：GridDB
- 引き続きそれぞれのプロダクト活用を通じた研究を支援
研究を通じて人的交流も図る

✓ DBSJ Data Challenge (データ提供型アカデミック支援プログラム)

- ・ 2020年度は NII IDR主催「IDRユーザーフォーラム」と共催
(2020/11/24開催予定)
- 同フォーラムをDBSJとして後援、DBSJ維持会員以外の企業との
人的・技術面での交流も図る

✓ その他企画 (オンラインコンテンツなど。実施是非を含め検討はこれから)

- ・ withコロナ時代ならではの産学連携・交流の在り方や進化形を模索

2020年度事業計画 (7) 産学連携推進 (2)

●担当理事（敬称略、☆：新任）

櫻井 一貴（リクルート）※委員長

小口 正人（お茶の水女子大学）※副委員長

榎 美紀 ☆（日本IBM）

倉林 修一 ☆（Cygames）

下道 高志（日本オラクル）

白石 雅己（日本電気）

高橋 翼 ☆（LINE）

武中 隆宏（富士通）

西岡 秀一（NTT）

浪岡 保男（東芝）

平手 勇宇（楽天）

藤原 真二（日立）

2020年度事業計画 (8) 論文誌編集 (1)

- ✓ 2020年度の発行予定
 - ・ Vol. 19：英文論文誌
 - ・ Vol. 19-J：和文論文誌
 - ・ 自由投稿の受付
 - ・ DEIM 2020推薦論文への対応
- ✓ 日本データベース学会論文賞の選定
 - ・ 2020年度 第18回
- ✓ 論文誌のあり方についての継続的見直し
- ✓ 編集委員の変更
 - ・ 西澤 格（日立製作所）：退任
 - ・ 茂木 和彦（日立製作所）：新任

2020年度事業計画 (8) 論文誌編集 (2)

- ✓ **編集委員長**

石川佳治(名大)

- ✓ **副編集委員長**

小杉尚子(東京医療保健大)

- ✓ **編集幹事**

張建偉(岩手大), 義久智樹(阪大)

- ✓ **編集委員 (17名)**

天笠俊之(筑波大), 牛尼剛聡(九大), 江口浩二(広島大)

小口正人(お茶大), 鬼塚真(阪大), 小山聡(北大)

是津耕司(NICT), 田島敬史(京大), 戸田浩之(NTT),

中島伸介(京産大), 灘本明代(甲南大), 春本要(阪大),

波多野賢治(同志社大), 宮崎純(東工大), 茂木和彦(日立),

森嶋厚行(筑波大), 森本康彦(広大)

2020年度事業計画 (9) 表彰

■ 表彰事業

- 2019年度表彰 (若手功績賞、上林奨励賞)
- 2020年度表彰 功労賞, 若手功績賞,
上林奨励賞, 業績賞

2020年度事業計画 (10) 情報システム

✓ 情報システム事業

- ・ Webページデザインのリニューアル
- ・ 主要なページの英語・中国語対応
- ・ 会員管理システム・dbjapanメーリングリスト・ホームページ（日英中）の安定運用
- ・ オンラインイベントのサポート
- ・ 一般社団法人化に向けた会員システムの対応

✓ 情報システム委員会

委員長 宮崎純

委員 梅本和俊、大塚真吾、吉田尚史、横山昌平、若宮翔子
鈴木優

アドバイザー 国島丈生

2020年度事業計画 (11) 電子広報編集

✓ Newsletterの定期刊行

+ Vol. 12, No. 1～8

定期(隔月)6号, 企画2号発行

× 企画①: DBSJ各賞 受賞者の声

× 企画②: 若手研究者の声

✓ 電子広報編集委員会: 共同編集体制

✓ 委員長: 佐藤(筑波大)

幹事会: 宮森(京産大), 国島(岡山県大), 藤原(NTT), 北山(工学院大)

編集委員: 11名

2020年度事業計画 (12) 男女共同参画・ ハラスメント防止

✓ 男女共同参画推進事業

- ・ 後援予定
 - IEEE WIE 2020 他
- ・ Webサイト上での広報活動の強化
- ・ 男女共同参画関連の新たな活動の検討（中高生向けの活動など）
- ・ 学会における託児設備

✓ ハラスメント防止委員会

- ・ 委員：橋本隆子（委員長）、小口正人（アドバイザー）
若宮翔子、梅本和俊、灘本明代、中野美由紀、木俣豊
- ・ 設立趣旨
 - ハラスメントを防止するための活動を通して、DBSJに関わる全ての人の基本的人権および尊厳を守り、各自が安心して快適に学会活動に従事できるようにすることを目指します
- ・ 規約の整備
- ・ Webサイト上での広報活動
- ・ DEIMなどでのショートプレゼンテーション（啓蒙活動）

2020年度事業計画 (13) 理事会・評議会・総会

✓ 理事会・評議会・総会開催

- ・ 理事会（第107回～112回）

- 定期開催：隔月

- 2020年 7月, 9月, 11月

- 2021年 1月, 3月, 5月

- ・ 第18回評議会

- 2020年 7月 （第107回理事会と同時開催）

- ・ 第20回通常総会

- 2021年 6月

2020年度収支予算書

2020年度収支予算書—収入—

【一般会計】					(単位:円)
科目	予算額	前年度予算	差異	前年度実績	備考欄
I. 収入の部					
1. 論文誌収入	600,000	500,000	100,000	600,000	
2020年度論文誌収入	600,000	500,000	100,000	600,000	
論文掲載料	600,000	500,000	100,000	600,000	前年度実績並み
論文別刷料	0	0	0	0	
2. 会費収入	5,680,000	5,900,000	▲ 220,000	5,686,000	
維持会員年会費	5,500,000	5,750,000	▲ 250,000	5,500,000	前年度実績並み
正会員年会費	180,000	150,000	30,000	186,000	前年度実績並み
3. 参加費・寄付金	32,000,000	3,000,000	29,000,000	2,740,000	DEIM2020余剰金、 DEIM2021参加費、スポンサー費用
4. 受託研究費	0	0	0	0	
5. 基本財運用収入	100	100	0	140	
6. その他	0	0	0	132,972	
当期収入合計(A)	38,280,100	9,400,100	28,880,000	9,159,112	
前期繰越収支差額	16,541,725	14,905,614	1,636,111	14,905,614	
収入合計(B)	54,821,825	24,305,714	30,516,111	24,064,726	

2020年度収支予算書—支出—

科目	予算額	前年度予算	差異	前年度実績	備考欄
Ⅱ. 支出の部					
1. 論文誌刊行業務費	0	50,000	▲ 50,000	0	別刷代としては、不要と考える
2. 研究・教育推進業務費	500,000	100,000	400,000	0	DB講義ライブラリ整備
3. 表彰業務費	640,000	400,000	240,000	257,625	昨年度予算並み＋昨年度表彰できなかった若手功績賞、上林奨励賞の賞金8人分
4. 企画業務費	32,950,000	1,500,000	31,450,000	649,205	SIGMOD-J補助金 500千円、 セミナー実施費用 450千円、 DEIM2020開催費用 32,000千円
5. 国内連携推進業務費	10,000	10,000	0	10,324	
6. 大会業務費	200,000	750,000	▲ 550,000	203,661	前年度実績並み
7. 会議費	100,000	400,000	▲ 300,000	263,194	オンライン開催のため減額
8. 電子情報システム費	3,800,000	3,800,000	0	444,731	HP及びサーバ保守費用等、 Webデザイン更新320万円
9. コンテンツ整備費	100,000	100,000	0	2,980	英文化支援費等
10. 会員DB整備事業費	800,000	840,000	▲ 40,000	297,440	会員DB改修費用、システム保守費
11. オープンイノベーション推進費	500,000	1,000,000	▲ 500,000	426,159	中国との連携など
12. 事務局運営費	1,600,000	1,800,000	▲ 200,000	1,094,381	事務局代・学会封筒・事務員人件費等 一般社団法人化に伴う事務費増加分
13. 事業積立金	1,000,000	500,000	500,000	0	昨年度の事業積立金繰り入れが4月になった
14. 予備費（コロナ対策）	1,000,000	100,000	900,000	0	コロナ対策委員会の事業費
15. その他	1,150,000	1,350,000	▲ 200,000	592,960	弁護士費用65万円、 一般社団法人化費用50万円
当期支出合計(C)	44,350,000	12,700,000	31,650,000	4,242,660	
当期収支差額(A)－(C)	▲ 6,069,900	▲ 3,299,900	▲ 2,770,000	4,916,452	
次期繰越収支差額(B)－(C)	10,471,825	11,605,714	▲ 1,133,889	19,822,066	

2020年度特別会計―国際会議基金―

【特別会計（国際会議基金）】					(単位:円)
科目	予算額	前年度予算	差異	前年度実績	備考欄
I. 収入の部					
1. 入金	0	1,000,000	▲ 1,000,000	1,000,000	
2. 利息	20	20	0	11	
当期収入合計(A)	20	1,000,020	▲ 1,000,000	1,000,011	
前期繰越収支差額	1,389,194	389,183	1,000,011	389,183	
収入合計(B)	1,389,214	1,389,203	11	1,389,194	
II. 支出の部					
1. 国際会議支援金	0	1,000,000	▲ 1,000,000	0	
当期支出合計(C)	0	1,000,000	▲ 1,000,000	0	
当期収支差額(A)－(C)	20	20	0	1,000,011	
次期繰越収支差額(B)－(C)	1,389,214	389,203	1,000,011	1,389,194	

2020年度特別会計―事業積立金―

【特別会計（事業積立金）】					(単位:円)
科目	予算額	前年度予算	差異	前年度実績	備考欄
I. 収入の部					
1. 当該年度積立金	1,000,000	500,000	500,000	0	前年度分を4月になって繰り入れ
2. 入金	0	0	0	0	
3. 利息	300	1,000	▲ 700	299	
当期収入合計(A)	1,000,300	501,000	499,300	299	
前期繰越収支差額	3,517,469	3,517,170	299	3,517,170	
収入合計(B)	4,517,769	4,018,170	499,599	3,517,469	
II. 支出の部					
1. 事業積立金費用	0	0	0	0	
2. 定期解約	0	0	0	0	
当期支出合計(C)	0	0	0	0	
当期収支差額(A)－(C)	1,000,300	501,000	499,300	299	
次期繰越収支差額(B)－(C)	4,517,769	4,018,170	499,599	3,517,469	

**2020年度
ACM SIGMOD
日本支部役員**

ACM SIGMOD日本支部役員

- 役員は2年任期(2期まで)
- 2019-20年度支部役員(2019. 7. 1 - 2021. 6. 30)
 - 支部長：灘本明代(甲南大学)
 - 副支部長：金 京淑(産総研)
大塚真吾(神奈川工科大学)
 - プログラム委員長：大島裕明(兵庫県立大学)
 - 会計幹事：梅本和俊(東京大学)
 - 庶務幹事：若宮翔子(奈良先端科学技術大学院大学)

総会終了

どうも有難うございました